

第22回 曽於市社会福祉大会

福祉作文 2026

優秀賞一覧

目次

学校名	学年	氏名	作品名	ページ
光神小学校	4 年	なかざき 中崎 ゆい 唯	言葉のキャッチボール	P1～3
笠木小学校	5 年	かわはら 川原 かなん 可楠	優しい人たち	P4～6
笠木小学校	6 年	とくどめ 徳留 ともき 朋輝	自分の気持ちをわかってく れたんだ	P7～9

- 1 だれもくは、「せうめい」学年・学校・組・名まえは「せうめい」書き、文しうは「せうめい」の「ばんめ」マスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、「一」字さげて書きはじめ、だんらく「一」字さげて書きましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも「ばんめ」マスから書き、あたまたま「一」字さげて書きましよう。

（ ） 月 日 曜日

言葉のキャッチボール

光神小 四年 中崎 唯

わたしの考える「おもいやり」とは、地域の方、家族、先生方、友達を大切にすることです。わたしが、周りの人を大切にするため、特に気をつけていることが「言葉」です。わたしは、「言葉」のやりとりを、キャッチボールと同じように考えています。相手に対しての投げかける言葉と、相手から言葉を受け取る時の反応に気をつけるようにしています。

まず、その例をうつしうかいます。一つ目は、友達とけんかをしたときに、自分の言いたいことばかり伝えたり、相手の言うてくることに反こうを続けたりしていたら、ずうと仲直りはできません。こんなふうに分かっではいるのだけれど、わたしは、友達とけんかをしたら、すぐにあやまれずに、ついよ言葉投げかけたり、無視したりしてしまっています。だから、最近では、自分から「さっさ



- 1 だれもくは、「ぎょうめに、学年・学校、組名または「ぎょうめに書き、文しうは「ぎょうめの「ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、「字さげて書きはじめ、だんらく「こにぎょうをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎょうも「ばんめのマスから書き、あたたまをえましよう。

（ ） 月 日 曜日

す。

もし、目の前でこまっ

ら、みなさんはどうしますか。

二つ目の例は、こまっ

ら、勇気を出して声をかけるといことです。

これは、とても勇気が必要なことす。しか

し、こまっ

とてもどきどきしていると思ひます。だから、

あたしは、やさしく「だいじようぶですか。

と声をかけてあげたいです。そうすると、相

手は安心します。勇気を出して声をかけた方

2

おはよう。そのほかにも、感謝の気持ちを伝えた

20×20

4 上は、それぞれ「字にかえて、「マスの中に書きましよう。
おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなだけを書きましよう。

鹿児島県小学校教育研究会国語部会編定



- 1 だれもくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは二きようめに書き、文しうは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくことにきまりをかえましよう。
3 持や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたえをきようえましよう。

一 月 日 曜日

ることも大事です。それに、ごはんを食べるときや別の教室に入るときなど、あいさつをする場面はたくさんあります。あいさつは、人々をつないで笑顔のなるまほうのようなものです。でも、わたしは、はづかしくて自分からあいさつをできていないので、これから自分から元気よくあいさつをすることを目標にしています。

「言葉のキャッチボール」を意識しながら、おもいやりをもつて、周りの人とかかわっていきなっています。

Na 3

- 4 「こ」は、それぞれ「字」にかざえて、「マス」の中に書きましよう。
5 おはなしたところは、「一」の中に入れてきようをかえて、おはなしたてを書きましよう。

(下 評 複 製)

20×20



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文脈を導き出しましょう。
 段落的な初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を整えましょう。

（ 月 日 曜日 ）

優しい人たち

曾於市立笠木小学校 五年 川原 可楠

私の周りには、優しい人がたくさんいます。

例えば、友達や先生、家族、地域の人たちで

す。私は、その人たちの優しさにたくさん助

けられています。今回は、そんな優しい人た

ちについて書きたいと思います。

まず、友達の優しいところ。私の友達

は、だれかが落ち込んでいる時にはげまして

くれます。また、けがをしている時には、

「大丈夫。」

と声をかけて、保健室に連れて行ってくれま

す。私は、そんな友達の優しさを、いつも感

じています。私も困っている友達がいたら、

同じように助けてあげたいと思います。

先生は、いつも相談に乗ってくれます。授

業で私が、「分からないな」と思った時には、

分かりやすく教えてくれます。また、みんな

を笑顔にしてくれるところも先生の優しいと

ころです。

20×20

3 詩などの行も三ばんのマスから書き頭をそろえましょう。
 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

月 日 曜日

私は勉強で分からない問題があった時、先生に聞きに行ったことがあります。その時、先生は、私が分かるまで丁寧に教えてくれました。おかげで問題が解けるようになりました。とてもうれしかったです。

次に、家族の優しいところです。私の家族は、父、母、兄の二人、そして私の五人家族です。家族はみんな、それぞれの長所をよく知っています。また、誕生日にはみんなで、誕生日おめでとう。

と言ってお祝いをしてくれます。その言葉を聞くと、とてもうれしい気持ちになります。また、学校で嫌なことがあった時には話を聞いてくれます。家族がいるから安心して毎日を過ごせているのだと思います。

最後に、地域の人たちの優しいところです。地域の人たちは、会うと、こんにちは。

と明るくあいさつをしてくれます。また、地域合同運動会では、地域の人たちだけで参

No. _____

3 時ほどの行も三ばんのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

1 文書の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

月 日 曜日

加する競技もあります。みなさん楽しそうに
参加していて、地域の人たちの仲の良さを感じ
ます。地域の人たちが見守ってくださるお
かげで、私たちは安心して生活できているの
だと思っています。

私は「これから友達や先生、家族、地域の
人たちのように優しい人になりたいです。誰
かが怪我をしていたら、友達のように、
大丈夫し。」
「こまっ たことない。」

と声をかけたいです。また困っている人が
いたら、先生のように優しく分かりやすく教
えてあげたいです。そして、地域の人たちの
ように、自分から元気よく、
「こんにちは」
とあいさつをしたいです。

私は、周りの人たちの優しさに支えられて
生活しています。これから私も優しさをも
らうだけではなく、周りの人に優しさも届け
られる人になりたいです。

No. _____

3 時はどの行も三はんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まらがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を起えましょう。

() 月 日 曜日

自分の気持ちをわかってくれたんだ。
曾が市立笠木小学校 6 年 徳留朋輝
僕は二年生からソフトボールをしている。
チームを引つ張る高学年を見て、「みんなを
まとめているのはカッコいいな。僕もみんな
をまとめてみたいな」と、ずっと思っていた。
そして五年生になり、自分がみんなをまと
める機会が回ってきた。監督やコーチに、
「みんなをまとめてくれないか?」
と言われ、僕は即答した。

家に帰って、そのことを父に話すと、
「まとめるということは、みんなから嫌われ
る立場にもなるんだよ。」
と言われた。その言葉をすごく重く感じた。
実際にやってみると、意外とうまくいき、
「楽しいな」「面白いな」と思った。最初は
色々なことがいい感じに進んでいた。
でも、ど中からみんな話を聞いてくれな
いな。真面目にしてくれないなと思うこと
が増えてきた。みんなをまとめないこと、監督

No. _____

3 詩はどの行も三ばんのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

でコーチに自分か叱られる。そんな気持ちから、
う、気づかぬうちに僕の口調は荒くなつて
いつた。みんなからも少しづつ距離を置かれ
始め、口をきいてくれないときもあった。
そんな苦しい時、僕を助けてくれる人がい
た。その人は僕への不満を言っている人に、
「朋輝さんは勝ちたいから、上に行きたいか
らあんなにがんばっているんだ。」
と言ってくれたらしい。父からその話を聞き
「あの子は朋輝の仲間だよ。」

と言われた時、僕は泣きそうになつた。自
分の気持ちをわかつてくれる人がいたんだ。
と思つた。

それでも、なかなかうまくいかず、僕は
ソフトをもう辞めたい。行きたくないと思
うようになり、父には練習を何日か休んだこ
ともあった。家で親に相談すると、監督やコ
ーチに相談してみることとすすめられた。そ
の時、僕は自分一人で必死をきいていたこと
に気づいた。それから監督やコーチに相談し

No. _____

20×20

3 詩などの行も三ばんのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を空けましょう。

() 月 日 曜日

勇気を出して、聞いてくれない人に、なせ話を聞いてくれないかを聞いたつもりもした。すると、少しずつ周りの人が協力してくれようになった。同時に自分の考え方も変わっていった。自分が言わなくても、誰かが言ってくれて、それを見ながきいてくれたらそれでいい。そう思えるようになった。それから次第にチームもまとまり、とてもいい雰囲気になった。これが僕の理想のチームだ。と思った。二年半くらい迷

っていた苦しさか晴れ、チームも県大会出場することになった。

僕は、そんなに勝ちたくても、チームメイトがいないと勝てないと思う。そして、それを支えてくれる家族や監督、コーチなどの協力があってこそソフトボールができています。

これからその人たちへの感謝を忘れず、ソフトボールを通して助け合うことと思いやりのバを大切にしながら、仲間と共に頑張りたいと思います。

No. _____

3 詩はどの行も三ばんのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。